

林野庁 平成29年木質バイオマスエネルギー利用動向調査 《都道府県別及び推移》

http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokusitu_biomass/index.html

平成29年、林野庁「バイオマスエネルギー利用動向調査」のうち、平成27年から平成29年の事業所数及び木材チップの利用量の推移を比較できるようにしたものです。

この資料は、調査結果の内容を分かり易く理解していただく為に、グラフ等により可視化して掲載しています。

この資料に関して、林野庁へのお問合せはご遠慮ください。

一般社団法人 日本木質バイオマスエネルギー協会

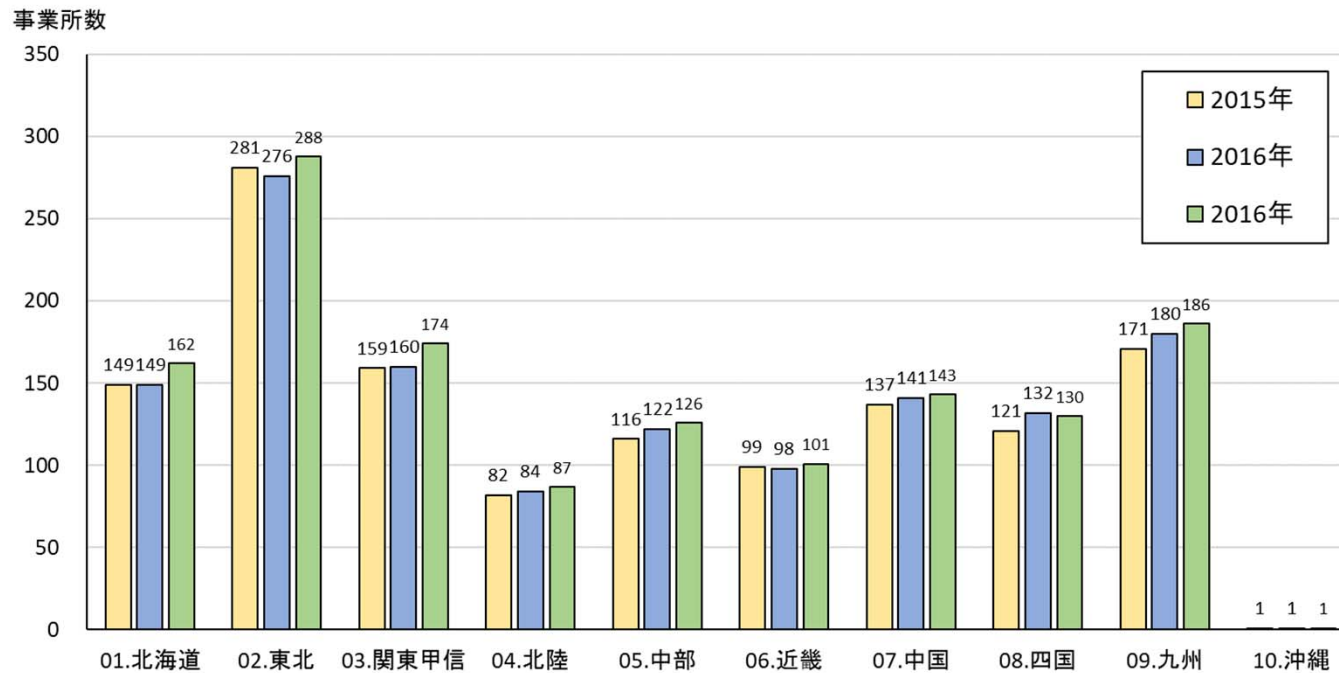
〒110-0016 東京都台東区台東3丁目12番5号 クラシックビル604

TEL:03-5817-8491 FAX:03-5817-8492

E-mail: mail@jwba.or.jp

業種別木質バイオマスエネルギー利用事業所数の推移 地方別 平成27年(2015年)～平成29年(2017年)

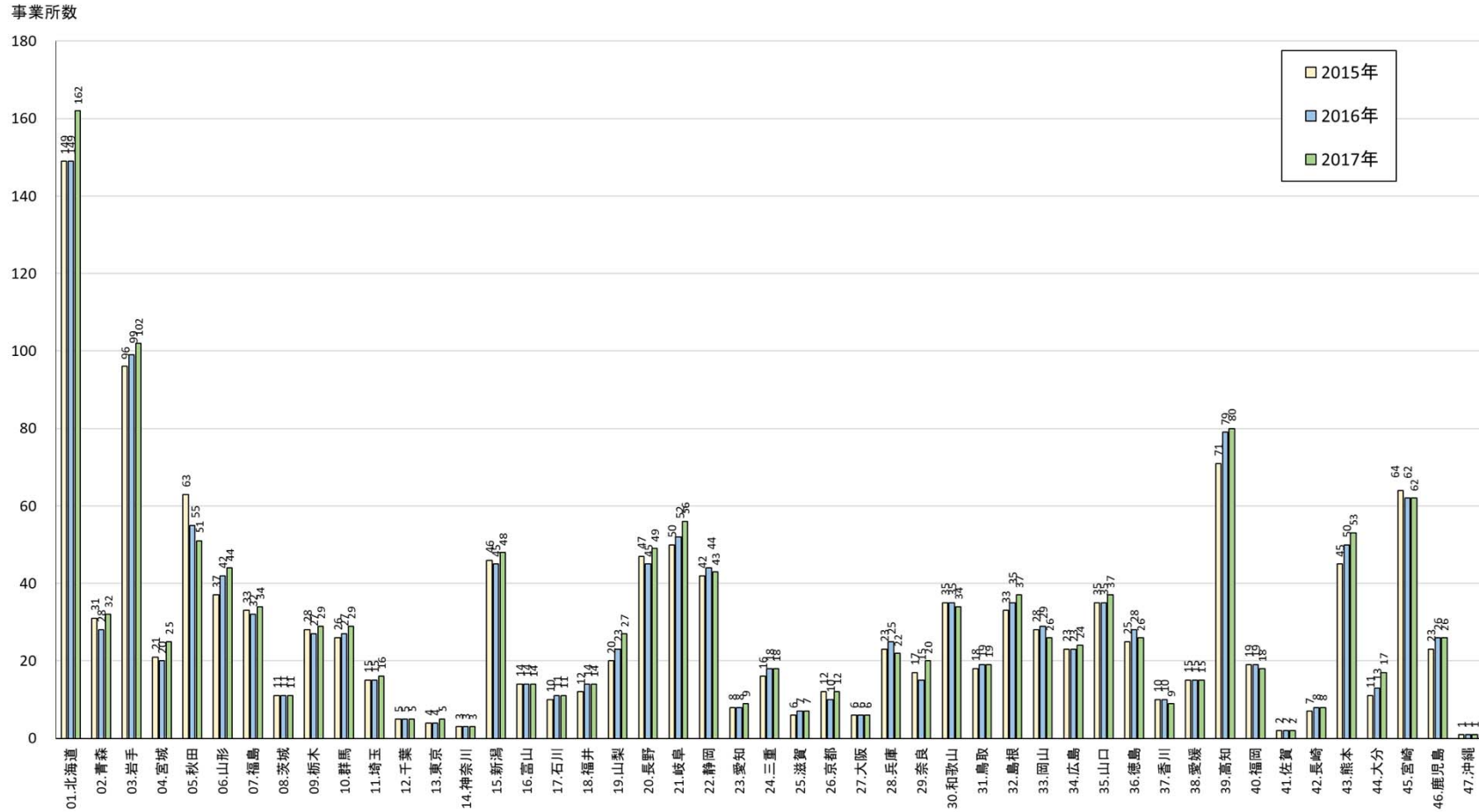
- 2017年は、四国、沖縄以外の全ての地域で木質バイオマスエネルギー利用事業所数が増加した。



	北海道	東北	関東甲信	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成27年(2015)	149	281	159	82	116	99	137	121	171	1
平成28年(2016)	149	276	160	84	122	98	141	132	180	1
平成29年(2017)	162	288	174	87	126	101	143	130	186	1
前年比(%)	9%	4%	9%	4%	3%	3%	1%	▲2%	3%	0%

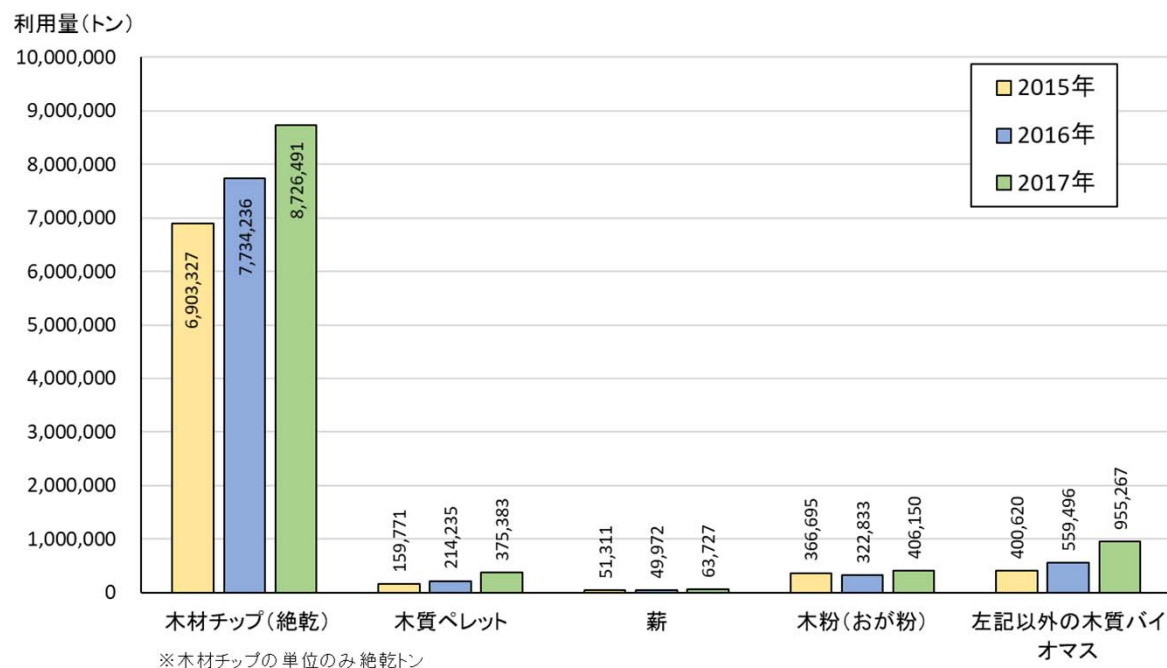
業種別木質バイオマスエネルギー利用事業所数の推移 都道府県別 平成27年(2015年)～平成29年(2017年)

- 都道府県別に見ると、利用事業者が増加したのが23都道府県、減少したのが8県、前年度と変化なしが16府県であった。



木質バイオマス利用量の推移 全国 平成27年(2015年)～平成29年(2017年)

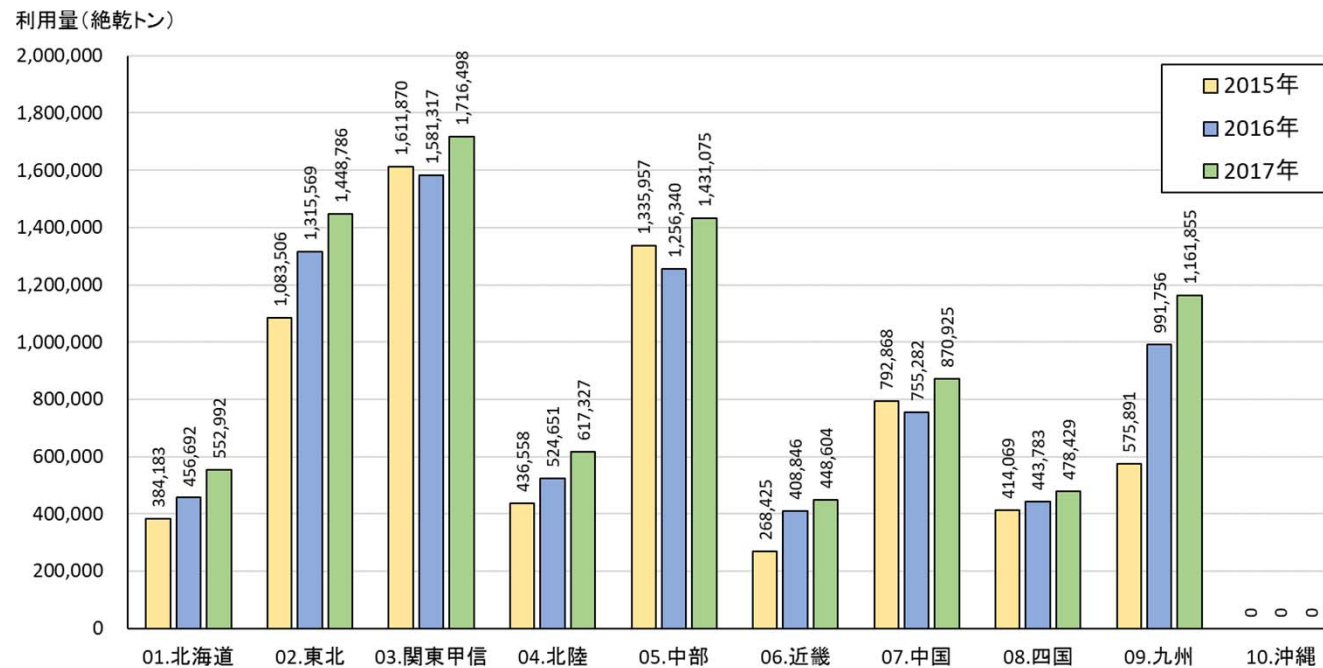
- 由来別に木材チップ利用量を前年と比較すると、木材チップ、木質ペレット、薪、木粉、その他のバイオマスいずれにおいても2桁以上の伸びとなった。



	木材チップ(絶乾)	木質ペレット	薪	木粉(おが粉)	左記以外のバイオマス
平成27年(2015)	6,903,327	159,771	51,311	366,695	400,620
平成28年(2016)	7,734,236	214,235	49,972	322,833	559,496
平成29年(2017)	8,726,491	375,383	63,727	406,150	955,267
前年比(%)	13%	75%	28%	26%	71%

木質バイオマスのうち、木材チップ利用量の推移 地方別 平成27年(2015年)～平成29年(2017年)

- 木材チップの利用量を地域別に前年と比較すると、沖縄県以外の地域で増加となった。特に2桁以上の伸びが7地域と大幅に伸びている。

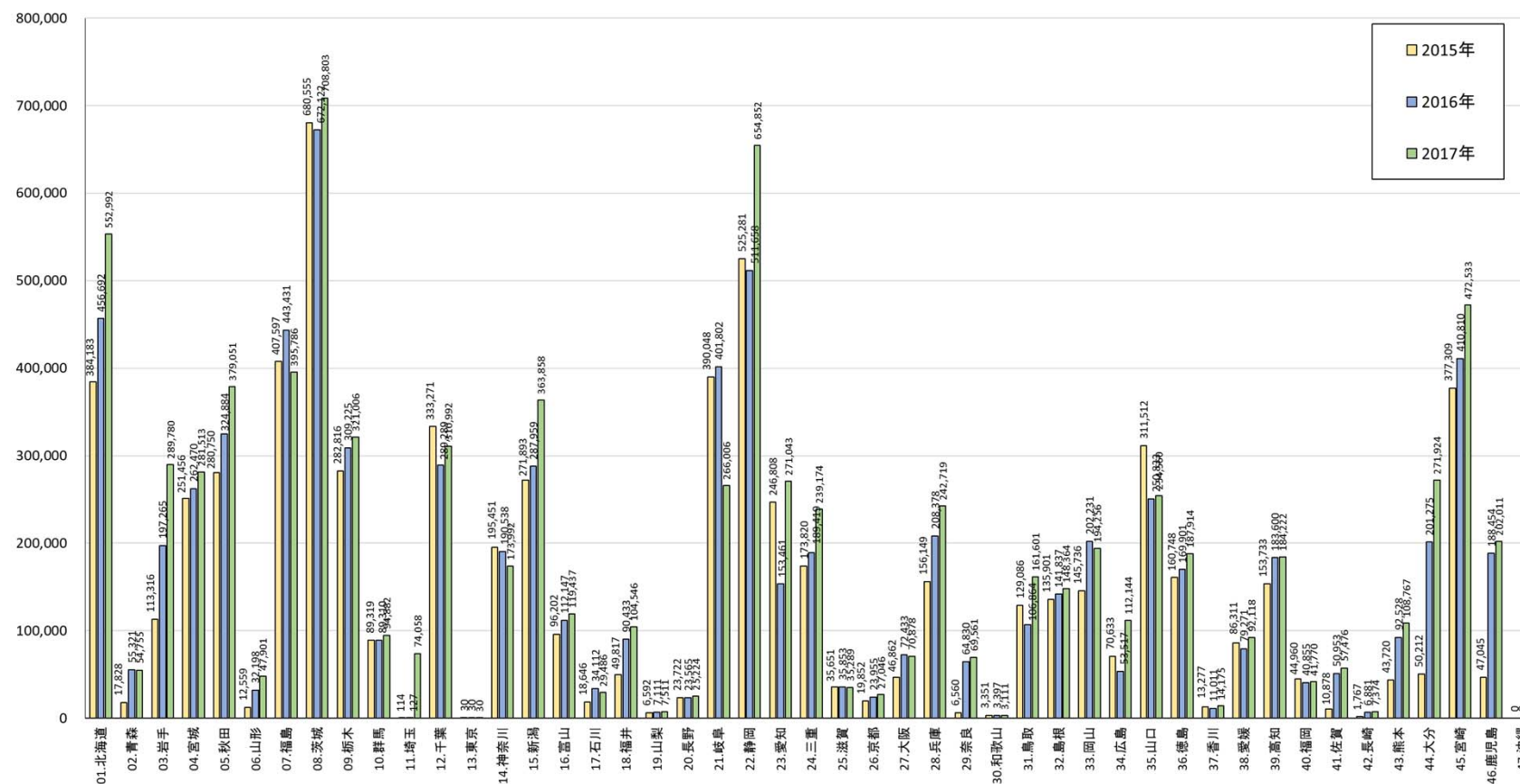


	北海道	東北	関東甲信	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成27年(2015)	384,183	1,083,506	1,611,870	436,558	1,335,957	268,425	792,868	414,069	575,891	0
平成28年(2016)	456,692	1,315,569	1,581,317	524,651	1,256,340	408,846	755,282	443,783	991,756	0
平成29年(2017)	552,992	1,448,786	1,716,498	617,327	1,431,075	448,604	870,925	478,429	1,161,855	0
前年比(%)	21%	10%	9%	18%	14%	10%	15%	8%	17%	0%

木質バイオマスのうち、木材チップ利用量の推移 都道府県別 平成27年(2015年)～平成29年(2017年)

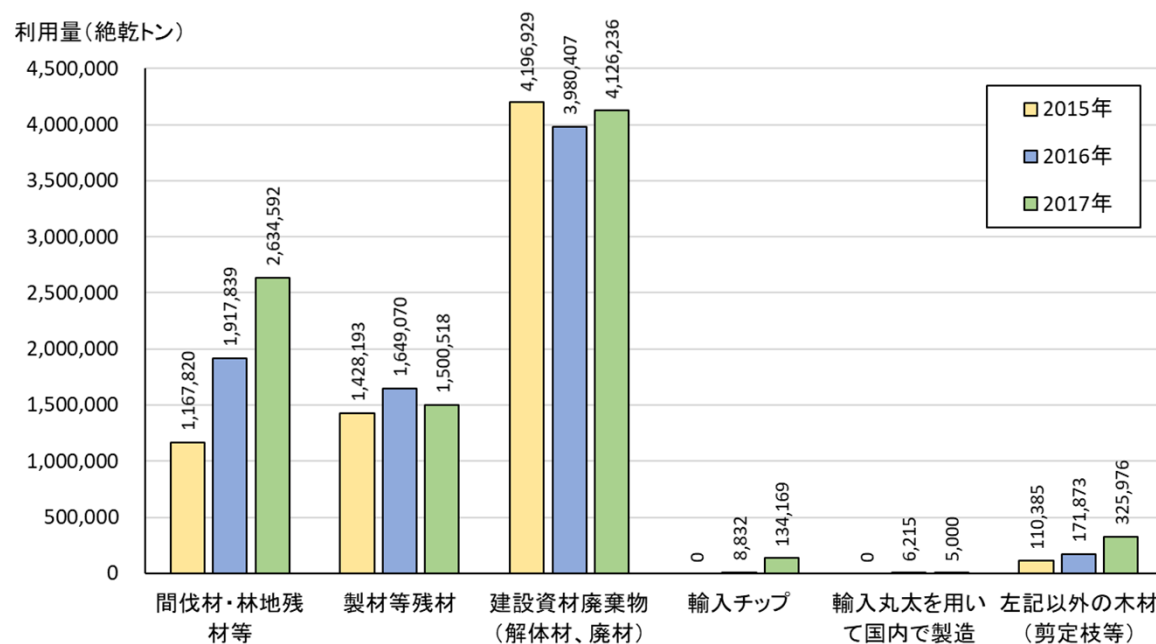
- 木材チップの利用量を都道府県別に前年と比較すると、利用量が増加したのが37都道府県、減少したのが9府県、前年度と変化なしが1都であった。

利用量(絶乾トン)



木質バイオマスのうち、木材チップの由来別利用量の推移 全国 平成27年(2015年)～平成29年(2017年)

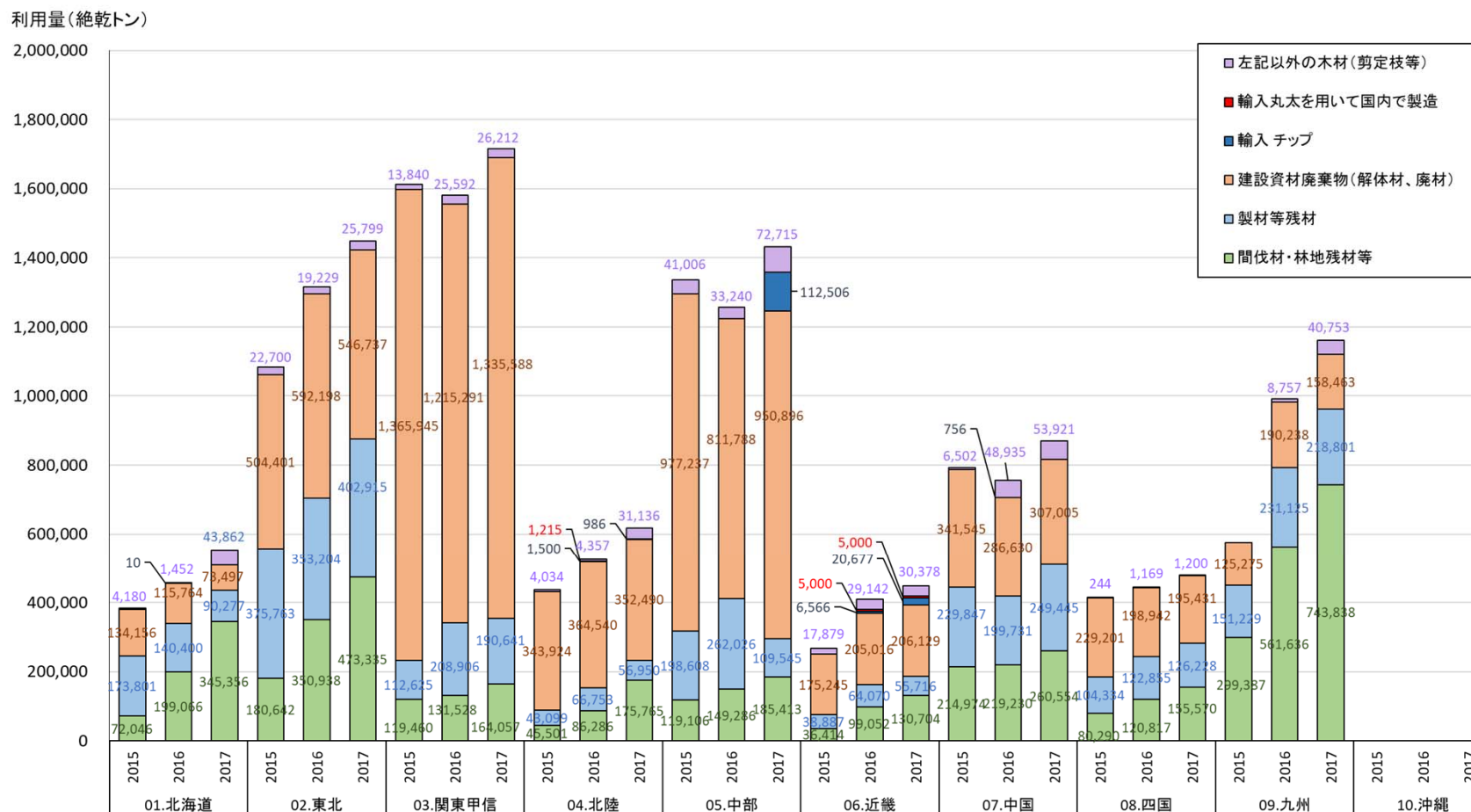
- 木材チップの利用量を由来別に前年と比較すると、「製材等端材」、および「輸入丸太を用いて国内製造」以外は全て増加している。間伐材林地残材等は37%増と大きく伸びている。これまで利用が少なかった輸入チップも大きく伸びている。



	間伐材・林地残材等	製材等端材	建設資材廃棄物	輸入チップ	輸入丸太を用いて国内製造	左記以外の木材(剪定枝等)
平成27年(2015)	1,167,820	1,428,193	4,196,929	0	0	110,385
平成28年(2016)	1,917,839	1,649,070	3,980,407	8,832	6,215	171,873
平成29年(2017)	2,634,592	1,500,518	4,126,236	134,169	5,000	325,976
前年比(%)	37%	▲9%	4%	1,419%	▲20%	90%

木質バイオマスのうち、木材チップの由来別利用量の推移 地方別 平成27年(2015年)～平成29年(2017年)

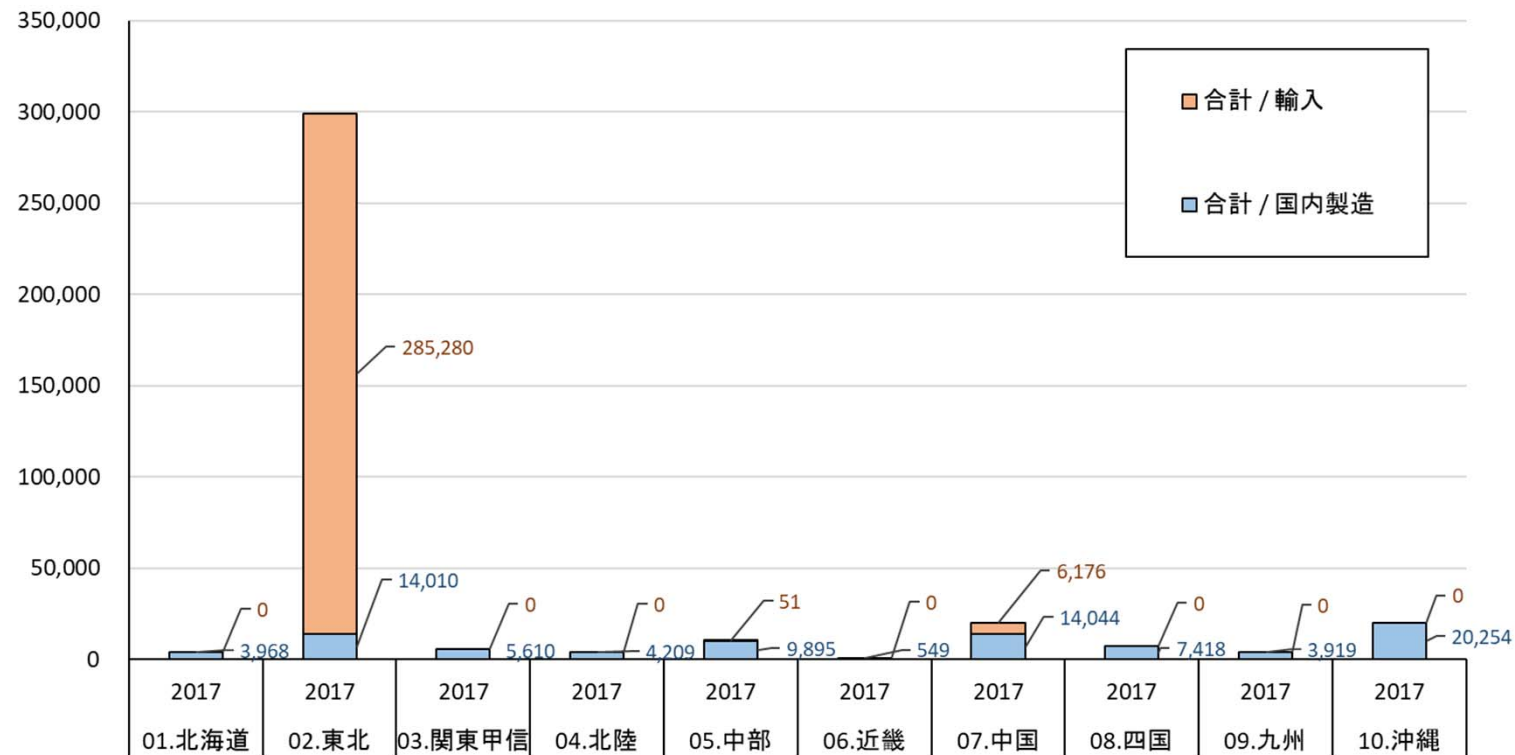
- 木材チップの利用量を由来別・地域別に比較すると、間伐材は全ての地域で増加、製材等残材は3地域で増加、建設廃材は4地域で増加となった。



木質ペレットの由来別利用量の推移(平成29年より新設項目) 地方別 平成29年(2017年)

- 木質ペレットの由来別利用量を地域別に見ると、東北地方に輸入ペレットが多く入っているのが特徴的となっている。

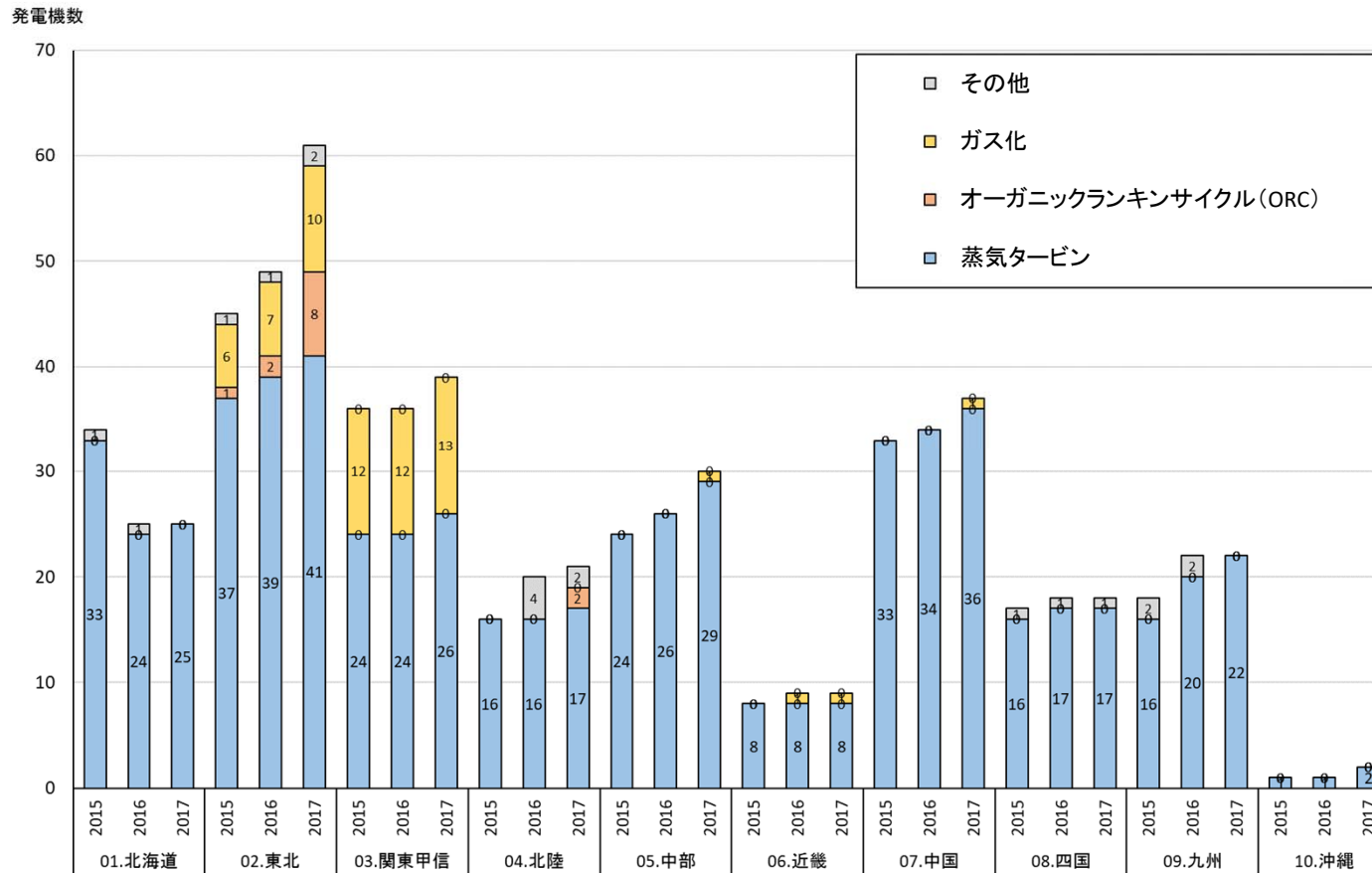
利用量(絶乾トン)



種別別発電機数の推移

地方別 平成27年(2015年)～平成29年(2017年)

- 種別別発電機数を前年と比較すると、近畿、四国以外の地域で増加している。全国での伸び率は10%であった。



種別別ボイラー数の推移

地方別 平成27年(2015年)～平成29年(2017年)

- 種別別ボイラー数を前年と比較すると、東北、北陸、近畿以外の地域で増加している。全国での伸び率は2%であった。

